

2017 出展票

チーム『農福連携：訪問かいこ&和紙づくり』

1. 出展者

チーム名	農福連携「訪問かいこ&和紙づくり」
出展法人	東京農業大学
実行責任者（リーダー）	川嶋 舟（東京農業大学 農学部 准教授 獣医学博士）
協力スタッフ	（東京農業大学の学生サポート）

2. 出展内容

「見る」プログラム

<概要>

高齢者や障がい者が蚕の世話をを行う「訪問かいこ」には心身の健康や社会的にも有用性があります。かいこの一生から特性、なぜ蚕を使うのかということなど様々な角度から紹介します。世話することだけでなく蚕の作るシルクにもたくさんの価値があります。今までの糸としての活用だけでなく、パウダーや液状にして化粧品などにも使われています。

また、蚕の食べない桑の小枝も和紙作りなどによって有効活用する取り組みも始まっています。このように新たな価値を生み出す農福連携の動きが広がってきています。

「学ぶ」プログラム

<講座の概要>

蚕の餌としてだけでなく食用としても有用な桑。様々な用途で使用される桑とは裏腹に桑の小枝の多くが捨てられています。そんな小枝を使用して和紙作りを高齢者や障がい者を持つ方々にやってもらい、新たな価値の創出や経済の循環、持続的な社会づくりに貢献するという取り組みが始まろうとしています。今回はそのような桑の小枝の和紙作りについての説明〈高付加価値なものづくりや農福連携〉や、驚くほど簡単にできる紙漉きを実際に体験してもらいたいと考えています。

講師名	川嶋 舟	
講師の所属	東京農業大学 農学部 准教授 獣医学博士	
講座のテーマ	桑の小枝で和紙漉き体験	
対象とする学年	小学生、中学生	
1 講座の定員	5 名	
1 講座の所用時間	50 分	
日程と時間	日程：10月8日	時間：14:30～15:30
人数制限の方法	先着受付	